

日本ガンマナイフ学会学術総会参加報告

柏葉脳神経外科病院 先端医療研究センター 平野 透

2023年2月10日～12日まで高知市で開催された第20回日本ガンマナイフ学会学術総会に参加してきました。私はこの学会の教育講演として脳神経外科領域の手術支援を行うための画像作成への取り組みについて報告させて頂きました。以前の職場である札幌医科大学附属病院にも現職の柏葉脳神経外科病院にもガンマナイフは無く、非常に薄っぺらい治療の知識しかない私にとって各演者の発表は興味深い内容が多く、更に看護師さんも含めて様々な職種の方が議論される学会であり、ガンマナイフ治療に関して集学的に学べる学会であると感じました。ここで私のような者がガンマナイフに関して説明するのは烏滸がましいのですが何度も治療が可能であること、更に多発で病変がかなり離れているような場合でも、他の放射線治療の方法に比べ正常組織への影響が少なく、病変部に集中して線量を当てることのできる治療法であることを今更ですが勉強致しました。大学で診療放射線技師として30年以上も働いていたのに、知らない事が沢山あるんだとお恥ずかしながら感じています。看護師や臨床工学士、診療放射線技師が一緒にセッションが初日にありましたが、実際に治療をされている脳神経外科医から「我々脳神経外科医はガンマナイフ治療をした患者さんから外来診察などで感謝の言葉を言われる事が多いが、治療は医師だけでやっているものではなく、多くの職種が治療に関わりチームで患者さんを治療していると思っている。患者さんから感謝の言葉はメディカルスタッフには直接ないかもしれないが、自信と自覚をもって治療に参画してほしい。」と発表者へのコメントがあり、このコメントを聞いただけでも学会に参加して良かったと感じています。私の仕事は脳神経外科領域の手術支援画像作成ですが、この仕事も手術を行う外科医と一緒に患者さんの治療に関わっており、そのためには医師の求めている情報を真摯にそして丁寧に提供することが重要と考えております。今回の学会に参加して仕事の内容は違いますが診療放射線技師もチームの一員として質の高い医療を常に提供すべきだと再確認しました。

学会もさることながら高知は食べ物も観光も素敵なところでした。最終日、帰りに飛行機の時間があるので桂浜に行ってきましたが太平洋が一望でき、また2月中旬であるのにその日の最高気温は18°でコートいらずのポカポカ日和でのんびりした時間を過ごすことが出来ました。2年後にはまた高知で大きな脳外科関連の学会があるとお聞きしたので、また参加したいと考えています。今度は学会後お休みも頂き四万十川にも行ってみたいと思っております。



学会会場での1コマ

森木大会長（写真右端）、座長の森本先生（右から2番目）、診療放射線技師のままとめ役の水口さん（もみの木病院）と記念撮影をさせていただきました。



桂浜

太平洋がとても綺麗でしたよ！



高知の鰻は大変美味しかったです